

プレゼミナールの進め方

1. テキスト

必要に応じて、プリントを配付。教科書として、特に購入する必要はなし。

2. スケジュール

06月02日 第1回 顔合わせ，今後のスケジュールの説明，2ヶ月間の学生生活を振り返って

06月09日 第2回 大学で学ぶことの意味，大学の授業スタイル，大学と実社会（1）

06月16日 第3回 大学で学ぶことの意味，大学の授業スタイル，大学と実社会（2）

⇒『学生生活ハンドブック』、『履修の手引き』，現在自分が履修している科目のノートをいくつか，を持参すること。

06月23日 第4回 大学の施設，学部・専攻の紹介

→図書館の見学，インターネットによる文献検索

06月30日 第5回 学習テーマの決定

→2人一組となり，2週間で取り組む学習テーマを決定する。

→各班，最低3つはテーマを考える。また，それぞれのテーマについて，どうしてそのようなテーマを選んだのかも各班10分の持ち時間で発表する。A4版1～2枚程度の配付資料を準備する。

→配付資料は，朝9時までに安浪助手に提出する。

07月07日 第6回 レポート作成中間報告

→06月30日に決めた学習テーマでは，どんなことを調べるのかを各班10分の持ち時間で発表する。

→どんな章立てにしてレポートを作成するのか。どこで調べるのかを考える。その際，できるだけインターネットのホームページは使用しない。A4版1枚程度の配付資料を準備する。

→配付資料は，朝9時までに安浪助手に提出する。

07月14日 第7回 レポート提出，発表

→レポートを基に，各班10分程度で内容を発表する。発表の際には，レポート本体とは別に発表用配付資料（A4版1～2枚程度）を作成する。

→レポートはできるだけワープロで作成する方が望ましい。

→配付資料は，朝9時までに安浪助手に提出する。

3. 参考図書（順に，書名，編著者名，発行所，発行年月，本体価格，ISBN番号，熊本県立大学附属図書館所蔵情報（[]内）。）

[1] 『大学生入門 改訂版』（高橋三郎・新田光子，世界思想社，2006年2月，1,300円＋税，ISBN：4-7907-1167-6）[開架2，377.9||Ta 33，0000300324]

[2] 『AERA Mook 勉強のやり方がわかる』（朝日新聞社，2004年4月，1,300円＋税，ISBN:4-02-274148-1）[開架2，377.15||B 35，0000286194]

[3] 『大学生からのスタディ・スキルズ 知へのステップ 改訂版』（学習技術研究会編著，くろしお出版，2006年10月，1,800円＋税，ISBN：4-87424-355-X）[開架2，377.15||G 16，0000311457]

[4] 『情報と知識の海-現代を公開するための 知のナビゲーター』（中澤務・森貴史・本村康哲編，くろしお出版，2007年4月，1,800円＋税，ISBN:978-4-87424-372-5）[開架2，377.15||N 46，0000309780]

[5] 『広げる知の世界 大学でのまなびのレッスン』（北尾謙治ほか，ひつじ書房，2005年5月，1,600円＋税，ISBN：4-89476-242-0）[開架2，377.15||Ki 71，0000293704]

4. 担当者

准教授・辻原 万規彦

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）4階南西角

電話：096-383-2929（内線492） e-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

准教授・細井 昭憲

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）3階南西角

電話：096-383-2929（内線475） e-mail：hosoi@pu-kumamoto.ac.jp

助手・安浪 夕佳

部屋：環境共生学部旧棟（旧生活科学部棟）3階・細井研究室（南西角）

電話：096-383-2929（内線475） e-mail：yasunami@pu-kumamoto.ac.jp